

# エアール沖縄 ANA傘下に

## グラランドシステムと統合

エアール沖縄（那覇市、大西準次社長）は16日、来年4月1日に子会社のグラランドシステム沖縄（同）と経営統合し、さらにANAホールディングス（ANAHD、東京都）の傘下に入ることを発表した。資本提携によるANAHDの出資割合は51%以上で、具体的な割合は決まっていない。統合による新会社の社名も未定で、共に年内には決定する見込み。統合、子会社化による両社の社員1065人の雇用や従来の業務内容に変更はない。

エアール沖縄とグラランドシステム沖縄はこれまで全日本空輸（ANA）から業務委託を受け、那覇空港で国内外の航空会社の旅客サービスやグラランドハンドリングなどの地上業務を請け負ってきたが、さらなる経営強化を目的に2社統合を決定。さらに、ANA

グループの一員となることでANAの業務ノウハウを活用できるほか、同じ社内教育が実施できるなどのメリットがある。賃金体系も順次全国水準に近いレベルまで引き上げられることも期待できる。

エアール沖縄とグラランドシステム沖縄の上原智也取締役は

「ANAの冠を使うことで多くのメリットを取り込めるだけでなく、それを活用して人材確保にもつなげたい」と期待を込めた。

ANAにとって、沖縄は戦略的地域と位置づけていることから、子会社として地元企業を取り込むことで経営基盤の強化が見込める。